

団地が変われば、「郊外」が面白くなる？

「郊外」の団地の面白い取り組みが一堂に集合、
建築・アート・社会学から郊外の可能性を探ります。

クリエイティブ・ダンチ・サミット！ 面白く生きるなら、団地でしょ。



サミット開催日時 2013年2月23日(土) 14:00~18:00 資料代 500円

展示会期 2月16日(土)~24日(日) 10:00~19:00 入場無料

場所 とりでアートギャラリーきらり (茨城県取手市新町)

事前告知・当日ご取材のご協力をどうぞよろしくお願い致します！

本件に関するお問い合わせは… 取手アートプロジェクト実施本部 (NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス)
〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-5 ARTOS かも2F Tel&Fax: 0297-72-0177

Email: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <http://www.toride-ap.gr.jp/>

<担当：羽原>

- ▶ いま、再び団地がさまざまな世代に「暮らす場所」として選ばれるためには？
- ▶ 郊外の団地で生まれつつある、「面白い仕掛け」が集まって、活動をシェアする。
- ▶ 典型的な郊外都市で、いまの社会を少し”ずらす”新しい文化と価値観をつくる。

2010 年度より続く取手アートプロジェクトのコアプログラム〈アートのある団地〉。地元の住民、また関係企業とのパートナーシップを育みながら、地域が団地から変わっていく試みが進みつつあります。

今回は、日本全国の「団地」が一様に経験している、「団地の次の機能とそこに暮らす次世代の開拓」というミッションに対し、面白く、遊び心と確実な目標を持ってアプローチする事例を集め、高度経済成長期の住戸需要を支え、一度機能を果たした団地の次のあり方を探る「サミット」を開催します。その名も、「クリエイティブ・ダンチ・サミット」。

「団地」に、現代を生きるさまざまな世代が面白がって手を入れることを通じて、「団地」を開いていく可能性を持った郊外都市の「潜在資源」として捉え、団地というさまざまな人が暮らす生活の集積が歩むこの先の可能性をつかむ場として提案します。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご取材・告知のご協力を賜われますようご案内申し上げます。



コンテンツ1：サミットテーブル

サミットテーブル・パネリスト



● 三浦展 Atsushi MIURA

社会デザイン研究者 1958 年生まれ。82 年 一橋大学社会学部卒業。(株)パルコ入社。マーケティング情報誌『アクロス』編集室勤務。86 年 同誌編集長。90 年、三菱総合研究所入社。99 年「カルチャースタディーズ研究所」設立。消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。著書に、80 万部のベストセラー『下流社会』のほか、消費論として『第四の消費 つながりを生み出す社会』、若者論として『マイホームレス・チャイルド』、教育論として『格差が遺伝する！』『下流大学が日本を滅ぼす！』、都市論、郊外論として『東京は郊外から消えていく！』『「家族」と「幸福」の戦後史』『ファスト風土化する日本』『スカイツリー東京下町散歩』『奇跡の団地 阿佐ヶ谷住宅』などがある。



● 馬場正尊 Masataka BABA

Open A 代表 / 東北芸術工科大学准教授 / 建築家

1968 年佐賀県生まれ。1994 年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002 年 Open A を設立。都市の空き地を発見するサイト「東京 R 不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET(Central East Tokyo)のディレクターなども務め、建築設計を基軸にしながら、メディアや不動産などを横断しながら活動している。主な著書に『都市をリノベーション』(NTT 出版)、『団地に住もう! 東京 R 不動産』(日経 BP 社)など。主な作品に「観月橋団地再生計画(2012 年、グッドデザインサステナブルデザイン賞)」「TABLOID(2010 年)」など。



● 森 司 Tsukasa MORI

東京アートポイント計画ディレクター / 取手アートプロジェクト実施副本部長

1960 年愛知県生まれ。水戸芸術館現代美術センター学芸員として、クリスト、長沢英俊、野村仁、川俣正、椿昇、日比野克彦、宮島達男らの個展ほか、グループ展「日常の喜び」(2008)、水戸の街でアートを展開する「カフェ・イン・水戸」(2008)などを手がける。第 11 回バングラディッシュ・ビエンナーレ(2003)日本コミッショナーを務める。2009 年 4 月より現職。

ケーススタディ・プレゼンター

- リビングルーム・プロジェクト（埼玉県北本市北本団地 北澤潤）
<http://livingroom.junkitazawa.com/LIVINGROOM/Top.html>
- ロクナナ団地（千葉県松戸市小金原団地 吉岡龍一）
<http://www.6-7danchi.com/>
- 村山団地 まいど～宅配（東京都武蔵村山市村山団地 比留間誠一）
http://www.murayama.or.jp/maido_center/gaiyo.html
- NPO法人 ちば地域再生リサーチ（千葉県千葉市美浜区高洲団地他 東秋沙）
<http://cr3.jp/>
- 取手アートプロジェクト TAP（茨城県取手市井野団地 羽原康恵）
<http://www.toride-ap.gr.jp/>

※上記活動はフォトドキュメントにて展示でも紹介します。

コンテンツ2：ケーススタディ・フォトドキュメント

首都圏郊外の団地で行なわれている「面白い取組み」をソフト、ハード織り交ぜて活動記録写真でライブ感とともに紹介。活動を知るためのここでしか手に入らないハンドアウトも。

コンテンツ3：団地偏愛型ライブラリー！

団地を建築から見た研究書や団地を舞台にした小説やマンガ、はたまた映画までを独自のキュレーションで紹介するブース。会期中、自由に鑑賞することができる。

- コーディネーター：大山顕 Ken OHYAMA (住宅都市整理公団 総裁)

コンテンツ4：団地オモシロアイデアウォール

団地R不動産による企画。サミットの来場者が「こんな団地があったら良いな」「ここがこんなになっていたらいいの」などの団地を面白くするプチアイデアを募集する場所。

- コーディネーター：団地R不動産 <http://www.realdanchiestate.jp/>

参考：ダンチ・イノベーターズ！プロジェクトとは

立場も職業もさまざまなメンバーが集まり、多様な主体とつながりながら、ソフトからハードまで含めた団地への仕掛けとその実現を通じて、新しい「ダンチ」をつくることを目指す社会実験。

7 組 + α のメンバーが公募により集まり、作戦総指揮馬場正尊によるチーム編成のもと、現在複数プランを画策中。本気で実現を目指し、全国 290 万戸を数える団地に対する実践付き社会提案を仕掛けていきます。



※公募は 2012 年 4 月に実施しました。

現在、ダンチ・イノベーターズ！プロジェクトでは、取手市内にある UR 管理の 2 つの団地（取手井野団地、戸頭団地）をプロジェクトサイトとして、企業や行政、自治組織との連携をはじめ、様々な世代を巻き込みながら進むプロジェクトの立案・実践に着手しています。

同プロジェクトに関する情報は解禁になり次第、随時 WEB サイト等にて発信していきます！

●現在進行中のプロジェクト

太陽の光で泊まる「サンセルフホテル」。「ホテルづくり市民講座」毎週土曜日に開催中！



ダンチ・イノベーターズ！プロジェクト #1 「サンセルフホテル」は太陽の光を宿泊客とホテルマンとが一緒に集めて発電し、その電気を使って過ごす一夜を提供する世界初（？）の団地ホテルです。そのホテルで利用されるさまざまなツール、アメニティは住民たちで構成されるホテルマンたちのてづくり。宿泊するための太陽の光を集めるソーラーワゴン、石けんやユニフォーム、コンシェルジュ MAP…老若男女がホテルマン候補生として日々奮闘中です。

◀完成したソーラーワゴンを手に、Vサインするホテルマン。

1 月から毎週土曜日に活動中！活動にはどなたでも参加できます。いこいの +Tappino で、基本は 13 時から（サミット開催日を除く）。ご取材をぜひお願いします！

本件に関するお問い合わせは… 取手アートプロジェクト実施本部（NPO 法人 取手アートプロジェクトオフィス）
〒302-0024 茨城県取手市新町 2-5-5 ARTOS かも 2F Tel&Fax: 0297-72-0177

Email: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <http://www.toride-ap.gr.jp/>

<担当：羽原>